科目名	30．生体防御と感染症				
履修年次	1年次	科目区分	専門基礎分野	単位数 (時間)	1単位 （30時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	感染症の原因である微生物の種類とそれらの特徴を知り、自己免疫と生体防御について理解することができる				
到達目標	1）生体が正常な機能を維持するための防御機構について説明できる 2）感染の成立過程と感染症が人の生活に及ぼす影響について説明でき、感染の予防行動の必要性について表現することができる				
評価方法	筆記試験（100点）				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　微生物学　疾病のなりたちと回復の促進④　医学書院				
参考文献					
教育方法と学生への期待 (求めること)	感染源・感染経路から、感染の予防・診断・治療・現状と対策について理解して欲しい。感染症の原因である微生物の種類とそれらの特徴を知り、自己免疫と生体防御について学ぶ必要があります。医療行為を行う上で常に問題となるのが感染症です。感染症の原因となるの病原微生物は、まさに医療従事者にとって宿敵と言っても過言ではありません。この目に見ることの出来ない小さな敵についての充分な知識を持って看護することが患者のためにも、また、みずからの感染を予防するためにも重要なことなのです。学問的な微生物のみを理解するのではなく、微生物学を通して、実際の医療システムの原理を理解するよう努力して下さい。				

回	学習項目	学習内容	授業 方法
1	微生物学の基礎	生物学の基礎 生物の進化 微生物とは	講義
2	細菌の性質	細菌の形態と特徴 培養環境と栄養 細菌の分類	講義
3	真菌、原虫の性質 ウイルスの性質	真菌、原虫の形態と特徴 ウイルスの形態と特徴	講義
4	感染と感染源・感染経路からみた感染症	感染とは、感染症発症のメカニズム（感染源・感染経路・宿主）	講義

5	感染症の予防	滅菌と消毒 ワクチンと予防接種	講義
6	感染症の検査と診断	細菌の同定法と感染症の診断	講義
7	感染症の治療	化学療法とその原理	講義
8	感染症の現状と対策	感染症の現状と対策	講義
9	免疫のしくみ	免疫のしくみ 免疫反応の低下 免疫反応の過剰	講義
10	感染に対する生体防御機構	自然免疫 獲得免疫 ワクチンの原理	講義
11	病原細菌と細菌感染症①	細菌学各論①	講義
12	病原細菌と細菌感染症②	細菌学各論②	講義
13	病原ウイルスとウイルス感染症①	ウイルス学各論①	講義
14	病原ウイルスとウイルス感染症②	ウイルス学各論②	講義
15	病原真菌、病原原虫の感染症総括	病原真菌、病原原虫各論 病原微生物のまとめ	講義